

京都橋大学 研究紀要 第47号(2020年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	Autonomy Online - The Performance of Extensive Reading and Synchronous, Interactive Classes	Alan Mulvey(国際英語学部国際英語学科)
2	遠隔授業で作る、遠隔授業の見方動画～ 3回生ゼミで幼児、児童を対象として～	池田 修(発達教育学部児童教育学科)
3	幼稚園における保育内容と園環境の工夫に関する研究－健康領域(運動遊び)の取り組みを通して－	口野 隆史(発達教育学部児童教育学科) 他1名
4	昭和10年代の日本人作曲家における民族性—菅原明朗《明石海峡》をめぐって—	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科)
5	日本語教育での新聞読者欄への投稿活動におけるゲーミフィケーション要素の検討	千々岩 宏晃(発達教育学部児童教育学科)
6	小学校における比例のグラフ読解に関する研究－変量の線分化の視点から－	西村 徳寿(発達教育学部児童教育学科)
7	PDCAサイクルによる実習の事前事後指導—大学と施設の実習意見交換会をC(Check)に位置付けて—	吉田 裕子(発達教育学部児童教育学科) 他1名
8	国際会計研究における現在の研究動向—IFRS関連論文の包括的レビュー—	真田 正次(現代ビジネス学部経営学科)
9	中間授業アンケートから考える遠隔授業改善	西野 毅朗(現代ビジネス学部経営学科)
10	模擬患者演習での問診における看護学部1年生のコミュニケーションの工夫と学び	岩崎 真子(看護学部看護学科) 他3名
11	フィンランドのネウボラにおける母子保健活動と保健師、助産師の教育プログラム	神崎 光子(看護学部看護学科)
12	日本におけるコミュニティ・レジリエンスに関する文献検討	黒瀧 安紀子(看護学部看護学科) 他1名
13	子育て期の親におけるワークライフバランス及びワークファミリーバランスに関する文献検討—促進要因と阻害要因に着目して—	下田 優子(看護学部看護学科) 他1名
14	新卒看護職者や看護学生を支援する教育指導者の育成プログラムに関する成果と課題	中橋 苗代(看護学部看護学科) 他3名
15	医療的ケアが必要な子どもの養育に対する家族の認識の特徴と因子構造—入院中から家庭で生活する時期に焦点を当てて—	奈良間 美保(看護学部看護学科) 他6名
16	命令的規範が利他的および利己的な不正行為の抑制に及ぼす影響	前田 洋光(健康科学部心理学科) 他1名
17	介護保険要支援者に対する「作業中心プログラム」と「運動中心プログラム」の効果の比較研究	近藤 敏(健康科学部作業療法学科) 他2名
18	救急救命学科における臨床推論とディスカッションを重視した学生主導の教育プログラムについての検討	黒崎 久訓(健康科学部救急救命学科) 他3名

京都橋大学 研究紀要 第46号(2019年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	二葉亭四迷『浮雲』におけるダ体の概念	安達 太郎(文学部日本語日本文学科)
2	エドワード・ヤング「創作覚書」(翻訳と解題)	大久保 友博(国際英語学部国際英語学科)
3	Promoting Learner Autonomy as Best Practice Pedagogy - An Exploratory Factor Analysis of an Active Learning Method -	Alan Mulvey(国際英語学部国際英語学科)
4	The Use of Collaborative Learning and Testing in English Language Classes for Students Intending to Study Abroad	Meg Ellis(国際英語学部国際英語学科) 他1名
5	教授内容の選択・編成・決定・学習指導における教師の権限に関する試論	佐藤 年明(発達教育学部児童教育学科)
6	京都橋大学看護学部卒業生の動向ならびに意識調査	西野 毅朗(現代ビジネス学部経営学科) 他2名
7	看護におけるclinical reasoningの概念分析	岡田 純子(看護学部看護学科)
8	フィジカルアセスメント演習における看護学部1年生の学び—地域住民教育ボランティアとの関わりを通して—	梶谷 佳子(看護学部看護学科) 他3名
9	発達障害のある看護学生に対する教育上の困難と支援に関する文献検討—メタ統合を参考にした分析による検討—	川村 晃右(看護学部看護学科) 他2名
10	夫婦のみ高齢世帯におけるソーシャル・キャピタル醸成のための予備的調査—夫婦のソーシャル・キャピタルの特性での区分による身体活動状況、閉じこもり傾向、抑うつ傾向の比較—	竹中 友希(看護学部看護学科) 他8名
11	薬物使用障害を有する女性への支援に関する文献検討	十倉 絵美(看護学部看護学科) 他3名

京都橋大学 研究紀要 第45号(2018年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	「言」と「文」の距離—坪内逍遙の場合—	安達 太郎(文学部日本語日本文学科)
2	アレグザンダー・ポープ「サンズの幽霊」(翻訳と解題)	大久保 友博(国際英語学部国際英語学科)
3	Laughter and Learning	Alan Mulvey(国際英語学部国際英語学科)
4	教育現場で使える“声づくり”(1)—大学生に「自然で無理のない声」を体得させる試み—	阿部 真子(発達教育学部児童教育学科)

5	1937年パリ国際博覧会をめぐるフランスの文化政策	大久保 恭子(発達教育学部児童教育学科)	
6	オノマトペを用いたリズム創作の可能性—協働性に着目して—	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科)	他1名
7	ポリシーに基づく縦断的統合型科目ルーブリックを用いた看護学実習評価の改善過程	西野 毅朗(現代ビジネス学部経営学科)	他3名
8	本学看護学生の学士課程教育におけるコアコンピテンシーの到達度に関する調査	伊藤 弘子(看護学部看護学科)	他3名
9	看護学部3回生の捉える看護における倫理的課題と倫理的判断	岩崎 真子(看護学部看護学科)	他1名
10	妊娠高血圧症候群褥婦の産後3か月までの血圧変動と関連要因	遠藤 俊子(看護学部看護学科)	他7名
11	精神科閉鎖病棟における禁煙支援の現状に関する文献検討	川村 晃右(看護学部看護学科)	他4名
12	学内演習におけるラーニングアシスタント活用に対する受講生の認識	中橋 苗代(看護学部看護学科)	他1名
13	助産師を対象とした母体急変に関するシミュレーション教育の試み—卒後教育としての「たばなSIM」活動報告—	兵藤 絵美(看護学部看護学科)	他6名
14	高校教諭の“性に関する教育”への思い・意識に関する文献検討	前田 絢子(看護学部看護学科)	他2名
15	Philosophical perspectives on the care of elderly people from the viewpoint of advanced practice nurses in Japan	深山 つかさ(看護学部看護学科)	他5名
16	助産技術学における模擬患者演習の教育効果—3年間の実施から—	宗 由里子(看護学部看護学科)	他7名

京都橘大学 研究紀要 第44号(2017年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	金融危機以降のエマージング諸国を中心とするマネーフローの特徴と課題	佐久間 浩司(国際英語学部国際英語学科)	
2	サミュエル・ジョンソン「翻訳史」(翻訳と解題)	大久保 友博(国際英語学部国際英語学科)	
3	表現領域における指導力育成につながるオペレッタ体験の有用性と展望	阿部 真子(発達教育学部児童教育学科)	
4	大戦間期から第二次世界大戦期におけるマティスの批評的位置付けをめぐる考察	大久保 恭子(発達教育学部児童教育学科)	
5	大学生の異文化認識の変容を促すタイ・スタディツアーの効果を考える	倉持 祐二(発達教育学部児童教育学科)	他2名
6	戦後日本の小学校における音楽創作活動の変遷—教科書の分析を通して—	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科)	
7	高等教育開発におけるミドル・アップダウン・アプローチの実証的研究(1)	西野 毅朗(現代ビジネス学部経営学科)	
8	臨床における教育担当看護師が教育的役割において発揮するメタ認知	岡田 純子(看護学部看護学科)	他2名

9	母親の月経に対する態度・意識・行動と思春期女子への母親による家庭内月経教育の実際	工藤 里香(看護学部看護学科)	他1名
10	早期産児を取り巻くNICUの環境音	中島 登美子(看護学部看護学科)	他2名
11	外国出生者における結核診断時の病態および発見経路の特徴	南 朗子(看護学部看護学科)	
12	第三期国定読本における書簡文	佐野 裕子(発達教育学部児童教育学科)	

京都橘大学 研究紀要 第43号(2016年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	ダ体の意味—山田美妙のダ体作品を中心に—	安達 太郎(文学部日本語日本文学科)	
2	フレイベルの「庭造り」(Gartenpflege)から見る幼児期における栽培の意味	青木 美智子(人間発達学部児童教育学科)	
3	亡命するタンゴ〜 Kult・ヴァイルからのメッセージ(2)	阿部 真子(人間発達学部児童教育学科)	
4	ヴィゴツキーと内言の意味論—フレデリック・ポランとの交差において—	神谷 栄司(人間発達学部児童教育学科)	
5	発達段階に伴う子どもの運動の理解に関する研究—上手な動きと下手な動きの絵を選択する調査を通して—	口野 隆史(人間発達学部児童教育学科)	
6	「食べ物教材」を使った小学校社会科・生活科の実践の変遷	倉持 祐二(人間発達学部児童教育学科)	
7	日本語初中級教材の分析—エッセイ・物語の改編のパターンの場合—	佐野 裕子(人間発達学部児童教育学科)	
8	日本の液晶テレビ市場における市場変容プロセスに関する考察	今井 まりな(現代ビジネス学部経営学科)	
9	現代米国における医療提供体制の改革—アカウンタブル・ケア組織とセーフティネット・プロバイダーを中心に—	高山 一夫(現代ビジネス学部経営学科)	
10	妊娠高血圧症候群妊産婦の血圧変動と看護への示唆	遠藤 俊子(看護学部看護学科)	他6名
11	看護学生におけるストレスとコーピングの関連性の検討	西村 美八(看護学部看護学科)	他5名
12	業務拡大した介護福祉士及び看護師の政策決定に影響した要因	野村 陽子(岩手医科大学医歯薬総合研究所看護・政策研究部門教授・元本学看護学部看護学科教授)	
13	山科区高齢者のニーズに合わせた活動プログラム開発の予備的検討	松本 賢哉(看護学部看護学科)	他5名
14	緊急入院となった後期高齢者患者が抱く治療方針の決定についての思い	深山 つかさ(看護学部看護学科)	
15	自己志向的完全主義と家族関係認知との関連	中川 明仁(健康科学部心理学科)	
16	パッケージカラーが商品イメージおよび購買意欲に及ぼす影響:チョコレートのパッケージを題材として	前田 洋光(健康科学部心理学科)	他5名
17	調査報告 本学所蔵「北野社宮仕沙汰承仕家資料」所収の中近世文書について(一)	尾下 成敏(文学部歴史学科)	

京都橘大学 研究紀要 第42号(2015年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	亡命するタンゴ ~ Kult・ヴァイルからのメッセージ(1)	阿部 真子(人間発達学部児童教育学科)	
2	連続型テキストの読解を、非連続型テキストの表現から導く指導に関する一考察 ~二回生ゼミ、京歌留多の取り札作成を通して~	池田 修(人間発達学部児童教育学科)	
3	市民の数学的リテラシーをどのように育むか~心理学科通信教育課程での「生活の中の数字」の試み~	小寺 隆幸(人間発達学部児童教育学科)	
4	日本語初中級読解教材の分析—説明文の改変のパターンの場合—	佐野 裕子(人間発達学部児童教育学科)	
5	0歳児保育において連絡帳で何がかわされているのか—連絡帳の意義・再考に向けた探索的研究—	森本 美絵(人間発達学部児童教育学科)	他1名
6	グローバル人材論と権利としてのキャリア教育	井ノ口 貴史(人間発達学部英語コミュニケーション学科)	
7	経営学におけるカテゴリ研究の可能性:コモディティ化プロセスの理解との関わりで	今井 まりな(現代ビジネス学部経営学科)	
8	看護研究支援[ベーシックコース]の学習プログラムの改善にむけた受講者の学習内容の理解度の検討	阿部 祝子(看護学部看護学科)	他1名
9	集中治療室に勤務する新人看護師の看護実践能力の獲得に資する学習活動	奥野 信行(看護学部看護学科)	他2名
10	臨地実習における看護学生の看護技術の経験状況と到達度 —実践看護学実習Ⅲを終了した本学看護学部3回生への調査から—	中橋 苗代(看護学部看護学科)	他1名
11	他者の期待に応えようとする動機の規定因:内集団に対する主観的理解の効果に着目した研究	塩谷 尚正(健康科学部心理学科)	
12	虚弱高齢者に対する伸張(エロンゲーション)トレーニングの効果について	宮崎 純弥(健康科学部理学療法学科)	
13	十七世紀山科の住人高山八右衛門と高山市郎左衛門について	尾下 成敏(文学部歴史学科)	
14	本能寺の変直後までの吉田兼和の生き方と交友関係—特に明智光秀、細川藤孝とのつながりを軸に—	田端 泰子(京都橘大学名誉教授)	

京都橋大学 研究紀要 第41号(2014年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	近代広東東部の疫病流行と医療、救済	蒲 豊彦(文学部日本語日本文学科)
2	島崎藤村の南米行―「国民外交」の視点から―	酒井 一臣(文学部歴史学科)
3	保育内容「領域 環境」における「文字への関心」を育む授業 ―“MOJIKARA体操”による豊かな漢字表現の試み―	青木 美智子(人間発達学部児童教育学科)
4	指導改善研修から「教員問題」を考察する	芦名 猛夫(人間発達学部児童教育学科)
5	19～20世紀転換期のヨーロッパにおける「タンゴ」があらわすもの	阿部 真子(人間発達学部児童教育学科)
6	幼児期における自我の意味について ―ヴィゴツキー理論の哲学的基礎からの照明―	神谷 栄司(人間発達学部児童教育学科)
7	庄内・本楯の循環型農業を教材化する	倉持 祐二(人間発達学部児童教育学科)
8	初期のフランス派作曲家菅原明朗と永井荷風 ―2つの歌曲《さすらひ》《口ずさみ》をめぐって―	佐野 仁美(人間発達学部児童教育学科)
9	「コトカラ」構文に関する考察	佐野 裕子(人間発達学部児童教育学科)
10	老いと死の「錬金術」―イェイツとゲーテ―	浅井 雅志(人間発達学部英語コミュニケーション学科)
11	アクティブ・ラーニングの導入とその実践的課題 ―『香りっぶくりむ』の研究開発を例に―	木下 達文(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
12	日本における戦後アメリカの建築に関する研究の状況 ―日本建築学会・計画系歴史意匠分野の論文を中心に―	河野 良平(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
13	歴史的建築様式を用いて現代住宅をデザインする方法論の研究	竹山 清明(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
14	新規入院患者数を考慮した病棟看護師の配置数決定に関する検討	阿部 祝子(看護学部看護学科)
15	プライマリケア実習で取り組む体力測定・健康教育に関する参加高齢者からみた 評価	小野塚 元子(看護学部看護学科)
16	新人助産師の助産実践能力の日豪実態調査	常田 裕子(看護学部看護学科)
17	日本と中国における認知症高齢者の家族介護者のストレスマネジメントについての検討―ストレスマネジメントスタイルと介護負担感の関係―	深山 つかさ(看護学部看護学科)
18	東宝特撮映画『モスラ』と中村真一郎・福永武彦・堀田善衛『発光妖精とモスラ』	細川 涼一(文学部歴史学科)
19	唐・宋時代における仏牙舍利伝来の様相―成都大聖慈寺の事例をめぐって―	王 衛明(文学部歴史学科)

京都橋大学 研究紀要 第40号(2013年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	The Age-Related Morphological Changes in the Capillary Architecture of the Peripheral Nerve in Rats	崎田 正博(健康科学部理学療法学科)
2	ヴィゴツキー理論における自己意識と概念的思考の問題 ―ヘーゲル『精神現象学』に照らして―	神谷 栄司(人間発達学部児童教育学科)
3	広い園庭と狭い園庭で遊ぶ幼児の鬼ごっこの理解について ―幼児へのインタビュー内容(知識・認識)を比較して―	口野 隆史(人間発達学部児童教育学科)
4	昭和初期の日本人作曲家と新日本音楽―菅原明朗と宮城道雄―	佐野 仁美(人間発達学部児童教育学科)
5	滋賀県の里親支援体制の現状とその実際 ―2009年度～2012年度の調査から―	森本 美絵(人間発達学部児童教育学科)
6	「フクシマ」後の原発学習の実践と課題	井ノ口 貴史(人間発達学部英語コミュニケーション学科)
7	音読と第二言語習得	弥永 啓子(人間発達学部英語コミュニケーション学科)
8	シミュレーション教育に参加した卒業生の学びの内容	阿部 祝子(看護学部看護学科)
9	学生の血圧測定技術の獲得体験の実態	梶谷 佳子(看護学部看護学科)
10	心理学における動物研究の意義	坂本 敏郎(健康科学部心理学科)
11	木村兼葎堂の交際圏―『兼葎堂日記』に見える武士に着目して(一)―	有坂 道子(文学部歴史遺産学科)
12	丘美文二郎―『地球防衛軍』『妖星ゴラス』の探偵・SF作家―	細川 涼一(文学部歴史学科)
13	最勝光院とその所領備中国新見荘の領有権の変遷 ―建春門院と宣陽門院の役割―	田端 泰子(京都橋大学名誉)

京都橋大学 研究紀要 第39号(2012年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	〈研究ノート〉天正期豊臣政権下の小早川氏と肥前諸領主	尾下 成敏(文学部歴史学科)
2	「臨床の知」から教育を見直す	滝野 功久(健康科学部心理学科)
3	新卒看護師の看護実践コミュニティへの参加過程における学びの経験 ―正統的周辺参加論の視点によるエスノグラフィック・ケーススタディー―	奥野 信行(看護学部看護学科)

4	RC造階段室型公営住宅における住まい方の実態	松本 正富(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
5	後発自動車メーカーのグローバル組織能力構築 —現代自動車グループの事例—	李 在鎬(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)	
6	読解の授業における語彙指導 —最新の第二言語語彙習得の実証研究に基づく考案—	弥永 啓子(人間発達学部英語コミュニケーション学科)	
7	滋賀県の里親会の現状と課題—市郡里親会の実態調査を踏まえて—	森本 美絵(人間発達学部児童教育学科)	他1名
8	障害児保育における巡回相談の歴史と今後の課題	三山 岳(人間発達学部児童教育学科)	
9	初期の日本人作曲家における近代フランス音楽受容 —菅原明朗とオルケストラ・シンフォニカ・タケキをめぐって—	佐野 仁美(人間発達学部児童教育学科)	
10	ヒーリー学級実践における“学び論”	上中 良子(人間発達学部児童教育学科)	
11	即時口頭指導に関する一考察 —『こんな時どう言い返す』を手がかりとして—	池田 修(人間発達学部児童教育学科)	
12	「大東亜共栄圏」研究の一視角 共時性としての西洋	酒井 一臣(文学部歴史学科)	
13	動作範囲の拡張	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)	
14	Sorokin Revisited:The Fate of Grand Theory or the Possibility of Cultural Sociology	大野 道邦(京都橋大学名誉教授)	

京都橋大学 研究紀要 第38号(2011年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	〈書評〉ケネス・ルオフ著『紀元二千六百年 消費と観光のナショナルリズム』	酒井 一臣(文学部歴史学科)	
2	西安碑林博物館・唐景龍観鐘銘文をめぐる一考察	王 衛明(文学部文化財学科)	
3	吉村順三の「御蔵山の家」における増築の手法について — 実施設計図からみる意匠的側面を中心とした研究 —	河野 良平(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
4	中国鐘の鋳型分割の変化	五十川 伸矢(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
5	触診モデルを用いた外傷観察能力の効果	北嶋 勝彦(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)	他4名
6	継続的購買における顧客満足度の構造 — 生協の組合員満足度調査から—	岡本 哲弥(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)	他1名
7	ソロキンとパー ソンズ — 「文化システム」概念をめぐる—	大野 道邦(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)	
8	国際的合意形成にみる教育機会均等原則の新たな展開	八木 英二(人間発達学部児童教育学科)	
9	ある委託児童(里子)の成長過程の具体像と里親養育へ社会的支援の在り方 — 継続的なインタビューによる里母の語りをとおして—	森本 美絵(人間発達学部児童教育学科)	他1名
10	命令・意志を表す名詞文についての覚書	中崎 崇(人間発達学部児童教育学科)	他1名
11	ジャン・ピアジェのヴィゴツキー理解について、あるいは、コメンテール のコメンテール	神谷 栄司(人間発達学部児童教育学科)	
12	《「表現」…それは、誰のもの?》— 学習指導要領に繰り返し強調される「造形あそび」をきっかけとした考察—	上中 良子(人間発達学部児童教育学科)	

京都橋大学 研究紀要 第37号(2010年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	フランス語語彙史の計量的調査	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)	
2	心理学と心理機能局在論 エリ・エス・ヴィゴツキー	神谷 栄司(訳)(人間発達学部児童教育学科)	
3	終助詞「ね」の機能	中崎 崇(人間発達学部児童教育学科)	
4	国際的合意形成からみた教育権と義務教育の危機	八木 英二(人間発達学部児童教育学科)	
5	「歴女」の文化遺産観光	金武 創(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
6	まち育てにおける「全協働」システム」の開発 —山科魅力発見プロジェクトと冊子『京都・山科 東西南北』の事例等を通して—	木下 達文(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
7	アダム・スミスの模倣芸術論: 芸術の価値分析序説	中谷 武雄(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
8	高齢・過疎地域の訪問看護ステーションにおける災害時要援護者対策の活動評価 —事例検討を中心に—	河原 宣子(看護学部看護学科)	他5名

京都橋大学 研究紀要 第36号(2009年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	Devolution and the Modern Scottish Poem — Part One: Introduction, Political Background and Home Rule between 1880 and 1914	アンガス・ノーマン(文学部英語コミュニケーション学科)
2	Individual and social distinctions in second and foreign language learner autonomy pedagogy and research: a discursive history	小川 享子(言語教育センター)
3	Applying Leadership Models to Contemporary Leadership Issues	コリン・デイル(言語教育センター)

4	英単語親密度を利用した語彙力診断テストの有効性の検証 —大学における日本人初～中級英語学習者の受容語彙習得レベルのより良い記述を目指して—	弥永 啓子(言語教育センター)
---	---	-----------------

5	英語語彙史の計量的調査	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)	
6	終助詞「とも」の機能	中崎 崇(言語教育センター)	
7	大戦直後の教育における国際的合意形成と特別なニーズ教育	八木 英二(文学部児童教育学科)	
8	ソローキン再訪—文化社会学の巨人—	大野 道邦(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)	他1名
9	人の開閉行動における取っ手の視覚情報について	西山 紀子(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
10	臨床看護師の看護学実習環境に関する意識調査	梶谷 佳子(看護学部看護学科)	他6名

京都橋大学 研究紀要 第35号(2008年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	『参天台五臺山記』訳註稿(5)	衣川 強(文学部歴史学科)	
2	織田作之助と千日前大阪劇場裏の少女怪死事件—「世相」「神経」の一背景—	細川 涼一(文学部歴史学科)	
3	ドイツにおける食品監視体制の成立と近代的食システムへの道	南 直人(文学部歴史学科)	
4	中国古代絵画史籍に見る日本書画收藏と鑑賞の記録	王 衛明(文学部文化財学科)	
5	緩和ケアにおけるアメニティの実証研究—看護師への質問紙調査から—	岡本 哲弥(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)	他5名
6	戸の開閉行動と取っ手のデザインとの関連性について	西山 紀子(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
7	前川國男の「京都会館」における設計手法について	河野 良平(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)	
8	「SOS子どもの村」にみる「おかあさん」職員へのサポート体制	森本 美絵(文学部児童教育学科)	他1名
9	語彙史の比較(1)—日本語	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)	
10	Applying Multiple Intelligence Theory to Curriculum Design : Case Studies and Recommendations	コリン・デイル(言語教育センター)	
11	A Comparison of L1 and L2 Glossing Influences on Unfamiliar L2 Vocabulary Incidental Learning	小川 享子(言語教育センター)	
12	Two Types of Utterance and Deviation from the Norm — Another Facet of the Speaker in a Speaker-Interlocutor Relationship —	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)	
13	To Know, or To Be, That is the Question: D. H. Lawrence's "Blood Consciousness" and "Mental Consciousness" Reconsidered	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)	

京都橋大学 研究紀要 第34号(2007年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	敦煌莫高窟における女性供養者図像に関する考察(1)—女性供養者題記の再検討を通して—	王 衛明(文学部文化財学科)	
2	『参天台五臺山記』訳註稿(3)	衣川 強(文学部歴史学科)	
3	米国非営利病院の公益性に関する考察(1)—コミュニティー・ベネフィット基準をめぐる政策論争を中心に—	高山 一夫(文化政策学部現代マネジメント学科)	
4	住民参加による地域資源再評価活動—『写真集・モノクロームヤマシナ』の企画・制作活動とその評価—	木下 達文(文化政策学部現代マネジメント学科)	
5	スウェーデンから—北欧の日本研究と、スウェーデンの両親休暇—	河原 和枝(文化政策学部現代マネジメント学科)	
6	教育について深く考え始めた学生たち—「教職入門」の授業の意義と課題—	小寺 隆幸(文学部児童教育学科)	
7	教育実習で育てる実践的指導力の基盤を考える—奈良教育大学における教育実習を例にして—	倉持 祐二(文学部児童教育学科)	
8	美術表現における「学力」考察—“表現力”を身につけるとは?—	上中 良子(文学部児童教育学科)	
9	短期留学生による実践のコミュニティの組織化	塩入 すみ(言語教育センター)	
10	English Education from Elementary School in Japan: The Vital Role that Universities can Play	鈴木 規巳洋(言語教育センター)	他1名
11	Two Modes of Visual Expressions: A Comparative Study of English and Japanese	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)	
12	大学におけるTOEIC対策—2007年度前期実践報告と今後の課題—	弥永 啓子(言語教育センター)	

京都橋大学 研究紀要 第33号(2006年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	唐裴孝源撰『貞観公私画録』考	王 衛明(文学部文化財学科)
2	大庭武年雑記—旧満州大連の探偵作家—	細川 涼一(文学部歴史学科)
3	初代中村富十郎、二代目嵐三五郎が演じた夕霧劇	林 久美子(文学部日本語日本文学科)

5	イギリス留学発見の旅 -D・Hロレンス、アラン・シリトー、パイロン、パット・マクグラス-	杉山 泰(文化政策学部文化政策学科)
6	文化遺産観光のストックとフロー -三内丸山遺跡を事例として-	金武 創(文化政策学部文化政策学科)
7	どうい英語を教えるか -英語・地域英語・国際英語- "能力試験として'06新TOEICの大学教育での新たな視点"	鈴木 規巳洋(言語教育センター)
8	留学生のアイデンティティ確立の過程 -台湾人短期留学生の事例から-	塩入 すみ(言語教育センター)
9	大学生の英語学習動機因子の因果関係を探る -リスニングを対象とした予備調査の分析から-	弥永 啓子(言語教育センター)
10	小売りにおける情報化と卸売企業の関与による効果 -大衆医薬品小売企業のアンケート調査から-	岡本 哲弥(文化政策学部現代マネジメント学科)
11	メディア・文化・社会 -「歌舞伎」ドラマをめぐる-	大野 道邦(文化政策学部現代マネジメント学科)
12	Traditions That Sustain and Forster The Jesus Movement	Richard Bonang(文学部英語コミュニケーション学科)
13	英日同時通訳におけるthinkの訳出について	西村 友美(文学部英語コミュニケーション学科)
14	深淵への漂流 -ロレンスとイエイツの神秘主義	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)

京都橘大学 研究紀要 第32号(2005年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	鎌倉期・室町初期の山内氏と一族一揆 -国人領主の迎えた南北朝内乱-	田端 泰子(文学部歴史学科)
2	博興龍華寺址出土北朝金銅仏造像に関する考察	王 衛明(文学部文化財学科)
3	文化行政から文化行政の経営へ -文化行政サービスの民営化の動向-	渡部 蒔(文化政策学部現代マネジメント学科)
4	『參天台五臺山記』訳註稿(2)	衣川 強(文学部歴史学科)
5	調査報告:比較社会史研究に関わる中国雲南省および西域調査について	横田 冬彦(文学部歴史学科)
6	視覚情報メディアとしての「地図」(2) -「Let's Walk やましな ホップ・ステップ・マップ」企画・制作における市民参加型地域資源再評価活動とその効果-	木下 達文(文化政策学部現代マネジメント学科)
7	17世紀後半のオランダにおけるフランス確率論の展開 -バスカル=フェルマーからホイヘンス、	吉田 忠(文化政策学部文化政策学科)
8	アルビン・トフラーの「文化産業」論	中谷 武雄(文化政策学部文化政策学科)
9	シラバスを中心に据えた学習指導のストラテジーの試みと評価 -教師主体のクラスメソッドが及ぼす学生主体のクラスアプローチ-	鈴木 規巳洋(言語教育センター助)
10	ALC NetAcademyの効果的利用に関する考察	弥永 啓子(言語教育センター)
11	Appearance of the Speaker in Discourse	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)
12	「自発性」という名のカルト-ロレンスとオカルト-	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)

他3名

京都橘女子大学 研究紀要 第31号(2004年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	追い詰められる日本語 -日本人の言語意識とアイデンティティ	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)
2	『參天台五臺山記』訳註稿(1)	衣川 強(文学部歴史学科)
3	橋本五郎伝ノート-探偵作家の南方徴用-	細川 涼一(文学部歴史学科)
4	エルミターージュ美術館所蔵のコズロフコレクション -カラ・ホト城出土の中国陶磁器を中心に-	弓場 紀知(文学部文化財学科)
5	[教育実践報告]経済学教育における3つの試み	小森 治夫(文化政策学部文化政策学科)
6	【創発】都市論-未知を恐れない「まちづかい」へ -文化政策の基礎問題とアーツ系課題のいくつか、神戸市での議論をもとに-	小暮 宣雄(文化政策学部文化政策学科)
7	道具名詞の連語論	宮島 達夫(京都橘大学名誉教授)
8	疑問文における反語解釈をめぐる覚え書き	安達 太郎(文学部日本語日本文学科)
9	A Continuum of Expressions on the Tripartite Levels of English Grammar	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)

京都橘女子大学 研究紀要 第30号(2003年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	小林秀雄 初期批評と形式主義論争	野村 幸一郎(文学部日本語日本文学科)
2	久山秀子・一条栄子覚え書き -日本最初の「女性」探偵作家-	細川 涼一(文学部歴史学科)
3	調査報告・中国福建省(厦門・泉州・福州)を巡って	横田 冬彦(文学部歴史学科)

他3名

5	文化芸術と法律－立法論的観点から－	渡部 蒔(文化政策学部文化政策学科)
6	[教育実践報告]ビデオ活用型講義の試み	小森 治夫(文化政策学部文化政策学科)
7	英語作品の用語の類似度	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)
8	The Art of Masochism	Nina Langton(本学客員教授/カナダ・オカナガン大学) (本学との教員交換交流により着任)
9	意味の奪還－D・H・ロレンスとC・G・ユングの他者表象－	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)

京都橋女子大学 研究紀要 第29号(2002年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	意識と宿命－小林秀雄「様々なる意匠」－	野村 幸一郎(文学部日本語日本文学科)
2	五代王処直壁画墓に関する考察－その墓主の経歴と壁画様式の諸問題をめぐって－	王 衛明(文学部文化財学科)
3	視覚情報メディアとしての「地図」－「京都市山科区ガイドマップ」における市民参加型企画・制作システムとその効果－	木下 達文(文化政策学部文化政策学科)
4	地域文化産業としての温泉観光	金武 創(文化政策学部文化政策学科)
5	総裁府期フランスにおける貿易拡大政策の方向転換	服部 春彦(文学部歴史学科)
6	Pampas Grass: A Case Study in Translation	Richard Bonang(文学部英語コミュニケーション学科)
7	原因と結果の表現における《話し手》の3つの側面	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)

京都橋女子大学 研究紀要 第28号(2001年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	小林秀雄の私小説批評－日本資本主義論争との接点－	野村 幸一郎(文学部日本語日本文学科)
2	京都町家の子供たち－関連語彙からみる－	寺島 浩子(文学部日本語日本文学科)
3	独往性幽撰「本師隠公大和尚伝賛」について	小野 和子(文学部歴史学科)
4	生駒家と座頭・警女仲間	朝尾 直弘(文学部文化財学科)
5	唐李嗣真撰『續画品録』考	王 衛明(文学部文化財学科)
6	我が国の学校制度の特徴とその柔軟化の方策	渡部 蒔(文化政策学部文化政策学科)
7	公共政策論の現代的課題における「ポーモルの病」の意義	阪本 崇(文化政策学部文化政策学科)
8	文化経済学教育における個性開発システム	池上 惇(文化政策学部文化政策学科)
9	The Cause-Effect Relation and the Role of the Observer in English Grammar	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)
10	Representing Others and Analyzing Oneself: Travel Writings of D. H. Lawrence and T.E.Lawrence	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)

京都橋女子大学 研究紀要 第27号(2000年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	没落士族のナショナリズム－明治初期の政治小説－	野村 幸一郎(文学部日本語日本文学科)	
2	徴兵忌避－泉川富蔵の場合－	植木 壽子(文学部歴史学科)	
3	白猪屯倉の設置事情	狩野 久(文学部歴史学科)	
4	生駒家の侍と中間(二)	朝尾 直弘(文学部文化財学科)	
5	五代における西蜀寺観壁画に関する一考察(続篇)－范成大『成都古寺名筆記』訳註－	王 衛明(文学部文化財学科)	
6	わが国における私学政策と私立大学の航路	渡部 蒔(文学部歴史学科)	
7	京都の日本語教育	宮島 達夫(文学部日本語日本文学科)	
8	漢語サ変動詞における格助詞の使い分け	岡部 寛(文学部日本語日本文学科)	
9	大学入門期教育の内容と方法の探求－一般教育における「現代社会と法」を素材にして－	梅本 裕(文学部英語コミュニケーション学科)	他1名
10	The Influence of Relationship and Proficiency on the Use of Foreigner Talk	森 節子(外国語教育研究センター)	
11	Thomas Merton: A Modern Apophatic Contemplative	Richard Bonang(文学部英語コミュニケーション学科)	

京都橘女子大学 研究紀要 第26号(1999年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	与謝野晶子の批評ーベルグソニズム受容を視座としてー	野村 幸一郎(文学部国文学科)
2	コスモ倶楽部小史	松尾 尊允(文学部歴史学科)
3	生駒家の侍と中間	朝尾 直弘(文学部文化財学科)
4	五代における西蜀寺観壁画に関する一考察ー成都大聖慈寺の絵画史料をめぐってー	王 衛明(文学部文化財学科)
5	'97アンケート調査にみられる全国公立博物館施設の現況と課題(自然史・総合・美術・歴史博物館について)	千地 万造(文学部文化財学科)
6	メフメトⅡ世の「ヤルリグ」ーバシュケントの戦いに関する一史料ー	小野 浩(文学部歴史学科)
7	格助詞の使い分け	岡部 寛(文学部国文学科)
8	時差通訳のストラテジーと言語認知	西村 友美(文学部英語英文学科)
9	ロレンス対プラトン	浅井 雅志(文学部英語英文学科)
10	Jesusesque Mysticism in the Synoptic Gospels	Richard Bonang(文学部英語英文学科)

他3名

京都橘女子大学 研究紀要 第25号(1998年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	上訴と功過	増淵 徹(文学部歴史学科)
2	青州龍興寺出土窖蔵仏教造像初論ー魏晋南北朝時期における山東仏教美術史的成立背景を中心に	王 衛明(文学部文化財学科)
3	'97アンケート調査に見られる 全国公立博物館の現況と課題(その1 自然史博物館)	千地 万造(文学部文化財学科)
4	フランス革命と土地所有の社会的移動	服部 春彦(文学部歴史学科)
5	日本語とドイツ語の語彙史の比較(続)	宮島 達夫(文学部国文学科)
6	京都橘女子大学最終講義「読む」とはどうかーErnest Hemingway, "Indian Camp"ー	永原 誠(元文学部英語英文学科)
7	JAPANESENESS: A CASE STUDY IN JAPANESE DISTINCTIVENESS	Richard Bonang(文学部英語英文学科)

他3名

京都橘女子大学 研究紀要 第24号(1997年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	「倫理」の両刃ー「オリエンタリズム的パラダイム」の光と影	浅井 雅志(文学部英語英文学科)
2	『VIKING』集団離脱	中尾 務(文学部国文学科)
3	匪賊・袁蝦九	蒲 豊彦(文学部国文学科)
4	ドイツ中世都市の東漸過程(下)	瀬原 義生(文学部歴史学科)
5	[史料紹介]明治天皇・昭憲皇太后の葬儀と旧山科郷土	後藤 靖(文学部歴史学科)
6	英語における場所と時間の表現ー結合価文法における状況項と行為項の接点ー	北林 利治(文学部英語英文学科)
7	大学における一般教養教育の意味についての研究ノートー会話の作法と一般教養教育ー	梅本 裕(文学部英語英文学科)
8	Random House版Adventures of Huckleberry Finnの“cadaver”挿話についてーVictor Doynoへの異論ー	永原 誠(文学部英語英文学科)

京都橘女子大学 研究紀要 第23号(1996年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	黙読の一般化ー言語生活史の対照ー	宮島 達夫(文学部国文学科)
2	元禄武士の遺書と葬儀	朝尾 直弘(文学部国文学科)
3	中国南北朝時代の随葬衣物疏に見える副葬品について	浅見 直一郎(文学部歴史学科)
4	ドイツ中世都市の東漸過程(上)	瀬原 義生(文学部歴史学科)
5	ヨオゼフ追憶 その二十二	南 順三(文学部本学名誉教授)
6	英語における省略と境界性の概念	北林 利治(文学部英語英文学科)
7	本学学生の日常生活におけるストレスの現状とその解消方法について	松下 桂子(文学部国文学科)
8	SACRED SPACE AND THE SHIKOKU PILGRIMAGE	Richard Bonang(文学部英語英文学科)

他1名

京都橘女子大学 研究紀要 第22号(1995年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	『夜の寝覚』『浜松中納言物語』の作者の関心 -「姉妹」の宿命-	鈴木 紀子(文学部国文学科)
2	近松秋江生家 -本家徳永家との関係からの一考察-	中尾 務(文学部国文学科)
3	自由党系新聞の帝国憲法論(二)	後藤 靖(文学部歴史学科)
4	ヨオゼフ追憶 その二十一	南 順三(文学部本学名誉教授)
5	博物館機能における保存科学の位置づけについて	千地 万造(文学部国文学科)
6	ロビン・パロウの『カリキュラム理論批判序説』-解説と翻訳-	梅本 裕(文学部英語英文学科)
7	世紀転換期イギリスにおけるヘルス・ヴィジティングの転換と保健医官	松浦 京子(文学部歴史学科)
8	ジョン・アーヴィング『ホテル・ニュー・ハンプシャー』におけるレイプ問題 -ヴィクティムからサヴァイヴァーへ-	鎌田 明子(文学部英語英文学科)
9	Mizuko Jizô and Nonborns: An Example of Contemporary Japanese Religious Practice	Richard Bonang(文学部英語英文学科)

京都橘女子大学 研究紀要 第21号(1994年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	沢柳事件始末	松尾 尊允(文学部歴史学科)
2	宮沢賢治『注文の多い料理店』私解 -童話集『注文の多い料理店』研究(二)	萬田 務(文学部国文学科)
3	本朝法華験記の語彙と表記 -霊験記・往生伝の文体をめぐって(一)-	藤井 俊博(文学部国文学科)
4	ヨオゼフ追憶 その二十	南 順三(文学部本学名誉教授)
5	競争原理の哲学的考察	碓井 敏正(文学部歴史学科)
6	コメニウスのエンサイクロペディア(汎知学)とデカルト	佐藤 令子(文学部歴史学科)
7	ジョン・アーヴィングの『ガープの世界』では… -犯罪としてのレイプ問題-	鎌田 明子(文学部英語英文学科)
8	ブライアン・フリールの劇的手法・続	平田 康(文学部英語英文学科)
9	マーク・トウェイン『コネチカット・ヤンキー』書出しの一章 -「道化」としてのハンクをめぐって-	永原 誠(文学部英語英文学科)
10	Elliptical Phenomena in English	北林 利治(文学部英語英文学科)
11	Group Identity in Japanese Interpersonal Communication	Richard Bonang(文学部英語英文学科)

京都橘女子大学 研究紀要 第20号(1993年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	近松秋江生家の外縁(二)	中尾 務
2	京都町家におけるあいさつ表現 -年代差に着目して、その二-	寺島 浩子
3	自由党系新聞の帝国憲法論(一)	後藤 靖
4	近世畿内の幕府広域役 -大坂城・蔵修復役を中心に-	村田 路人
5	ヨオゼフ追憶 その十九	南 順三
6	Anatomy of Interpretation:Separation of Meaning from Wording	Tomomi Nishimura
7	再認記憶における自己選択効果と学習材料の有意味度	高橋 雅延
8	「とこしえの天の力のもとに」 -モンゴル時代発令文の冒頭定型句をめぐって-	小野 浩
9	ブライアン・フリールの劇的手法	平田 康
10	Nurturing a New Generation of Translators	Richard Bonang

京都橘女子大学 研究紀要 第19号(1992年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	宮沢賢治「どんぐりと山猫」解析 -童話集『注文の多い料理店』研究(1)	萬田 務
2	『浜松中納言物語』の乳母たち(二)	鈴木 紀子
3	謡曲「胡蝶」と虫類成仏	細川 涼一

5	平等論の新しい地平	碓井 敏正
6	1920年代広東の民団と農民自衛軍	蒲 豊彦
7	「ディルタイ・ルネサンス」への追記(その二) -「マックス・ヴェーバーの理論と歴史とのあいだを宥和する企て」によせて-	西山 勤二
8	ヨオゼフ追憶 その十八	南 順三
9	J. A. コメニウスにおける「アカデミア」(大学) 構想	佐藤 令子
10	存在の充溢を求めて -D. H. ロレンスの教育論-	浅井 雅志
11	KAWABATA YASUNARI'S「ざくろ」AND「笹舟」A Study of Two English Translations	Richard Bonang

京都橘女子大学 研究紀要 第18号(1991年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	近松秋江生家の外縁(一)	中尾 務
2	古代和文資料における翻訳語	藤井 俊博
3	南北朝内乱期における国人・土豪層の役割と女性の地位	田端 泰子
4	「ディルタイ・ルネサンス」への追記(その一) -「カール・ランプレヒト对新ランケ学派あるいは理論対歴史」によせて-	西山 勤二
5	ヨオゼフ追憶 その十七	南 順三
6	ひらがな清音五文字名詞の熟知価について	藤田 哲也
7	今日の大学外国語カリキュラム改革の諸特徴	梅本 裕
8	Getting Real: The Use of Computer Networks in the ESL Classroom	Stephen R. Futscher
9	First & Second Century Gnostics	Richard Bonang

京都橘女子大学 研究紀要 第17号(1990年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	宗鑑の「誹諧連歌」の性格について	井口 壽
2	「事限り無し」考	藤井 俊博
3	用聞の諸機能と近世的支配の特徴	村田 路人
4	史料調査報告 足袋屋町文書(京都市)について	京都橘女子大学歴史学科日本史コース
5	私学助成をめぐる問題	野川 照夫
6	ヨオゼフ追憶 その十六	南 順三
7	環境的文脈依存記憶研究の問題点	高橋 雅延
8	コメニウスにおける生涯教育の構想Ⅳ	佐藤 令子
9	『キターブ・パフリエ』ヒジュラ暦927年本系写本八種	新谷 英治
10	Doublespeak 'の語用論的考察	橋本 友子
11	Origin and Development of Christian Contemplation III	Richard Bonang

京都橘女子大学 研究紀要 第16号(1989年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	大福光寺本『方丈記』の問題点	吉池 浩
2	資料紹介「別れたる妻に送る手紙」草稿	中尾 務
3	静小論	細川 涼一
4	史料調査報告 矢島共有文書(滋賀県守山市)について	京都橘女子大学歴史学科日本史コース
5	ヨオゼフ追憶 その十五	南 順三
6	1930年代のベーシック・イングリッシュの受容について	梅本 裕
7	D・H・ロレンスと二冊の限定私家版	杉山 泰

京都橘女子大学 研究紀要 第15号(1988年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	更級日記作者の映像	吉池 浩
2	ヨオゼフ追憶 その十四	南 順三
3	大正・昭和期の生活難と女性問題	小路田 泰直
4	インド思想史研究覚え書	荷葉 堅正
5	コンピュータによる英文処理と英語教育	中村 則之
6	カート・ヴォネガット『ジェイルバード』論 その二	鎌田 明子
7	Athol Fugard戯曲の秘密 その二	平田 康
8	ギッシングとイタリアの旅	内田 郁雄
9	Mysticism and Richard Rolle	Richard Bonang

橘女子大学 研究紀要 第14号(1987年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	リチャード・バクスターとマーガレット・チャールトン -英国革命とある愛の記録-	越智 武臣
2	「伊勢物語」の問題点続稿 -「ほいにはあらで」を中心に-	吉池 浩
3	兼載の俳諧	井口 壽
4	『守山御日記』にみる芸能 -浄瑠璃操りを中心に-	安田 富貴子
5	京言葉における待遇表現 -町家の人間関係に関わる表現-	寺島 浩子
6	百姓一揆と「得物」	藪田 貫
7	『浜松中納言物語』-親子愛に見る特性-	鈴木 紀子
8	朝鮮における新幹会運動とコミンテルンの民族統一戦線論	水野 直樹
9	オーギーのなかのインセスト -長塚節『土』小見-	中尾 務
10	「都市計画」前夜	小路田 泰直
11	英国観劇雑記	平田 康
12	ヨオゼフ追憶 その十三	南 順三
13	カルロ・ギンズブルグ -イタリアの新しい歴史学の流れから-	山辺 規子
14	メイダーンとバーグ -シャー・アッバスの都市計画再考-	羽田 正
15	小説における時間と空間 -ミシェル・ビュートルの小説理論から(その一)-	志賀 亮一
16	現代日本における非合理主義の哲学と産業社会の論理 -中村雄二郎氏の所説を分析する-	碓井 敏正
17	接尾辞-able(-ible)について	橋本 友子
18	カート・ヴォネガット『ジェイルバード』論 -その一- カイヤホーガの惨劇とサッコ・ヴァンゼッティ事件の意味-	鎌田 明子
19	雪国のすべり遊び	松下 桂子
20	コメニウスにおける生涯教育の構想Ⅲ -成人教育論を中心において-	佐藤 令子
21	青年中期から後期への性格形成の追跡調査 -報告その一- 高校編-	谷口 豊子
22	阿城伝説にみるルーツ文学	中川 俊
23	モロッコ王国・地球科学博物館の基本構想(提案)	千地 万造

橘女子大学 研究紀要 第13号(1986年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	「ディルタイ・ルネサンス」理論と歴史とのあいだを宥和する企てのための「歴史的理性批判」について	西山 勤二
2	ヨオゼフ追憶 その十二	南 順三

4	最近のフロラ・トリスタン研究からーペルーにおける研究の紹介を中心にー	杉村 和子
5	サレルノのソロモンー12世紀中葉のあるイタリア商人ー	山辺 規子
6	D・H・ロレンスにおける“死と生”ー初期の三つの小説を中心としてー	杉山 泰
7	Athol Fugard戯曲の秘密ー‘Masler Horold’…and the boysを中心にー	平田 康
8	《退任記念講演》わが回想の記ー東洋と西洋とー	長廣 敏雄

橋女子大学 研究紀要 第12号(1985年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨオゼフ追憶 その十一	南 順三
2	『沙石集』所載の連歌について	井口 壽
3	古代・中世の「家」と家族ー養子を中心としてー	田端 泰子
4	政治家ラマルティエヌに関する一考察	杉村 和子
5	天福本『伊勢物語』の問題点ー「むまのかみ」・「うまのかみ」その他ー	吉池 浩
6	百姓一揆と国訴	藪田 貫
7	The Dreaming of the Bonesの現代性	平田 康
8	弾劾された修道院長	山辺 規子
9	ヴェルナー・ゾンバルトの理論と歴史とのあいだを宥和する企て	西山 勤二

橋女子大学 研究紀要 第11号(1984年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	守川正道先生を偲んで	西山 勤二
2	フィリピンの古来文化ー伝承と真実ー	守川 正道
3	労働者の新聞『アトリエ』とポーランド問題ー一八四八年の革命を中心にー	杉村 和子
4	大正デモクラシーとR・ブラウニング	多田 英次
5	ヨオゼフ追憶 その十	南 順三
6	国会の議決再考ー経験法学としてのー	安部 浜男
7	シュブランガーと日本(Ⅲ)ーその意識と現実ー	佐藤 令子
8	更級日記の問題点ー作者結婚の時期と作品の構造ー	吉池 浩
9	「夜の寝覚」における男性観の特色ー考標女作者説に向けてー	鈴木 紀子

橋女子大学 研究紀要 第10号(1983年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	トマス・モアと『ユートピア』	多田 英次
2	ヨオゼフ追憶 その九	南 順三
3	大和物語の問題点ー「散りぬれば」の歌などを中心としてー	吉池 浩
4	鬼貫の「悟り」についての試論	井口 壽
5	宮沢賢治「グスコブドリの伝記」成立考ーひとつの仮説の試みー	萬田 務
6	土一揆の組織性と私徳政ー續・都市と農村の対立ー	脇田 晴子
7	中世における女性の地位と役割ー婚姻形態を通じてー	田端 泰子
8	得物・鳴物・打物ー百姓一揆研究ノートー	藪田 貫
9	フロラ・トリスタンとパリの労働者たちー労働者の新聞『ルシュ・ポピュレール』と『アトリエ』の場合を中心にー	杉村 和子
10	国木田独歩「源おぢ」の一面	上田 博
11	「京言葉」記述の試みー記述の方法、及び人称代名詞に関する記述ー	寺島 浩子

13	英語の文頭の削除について	橋本 友子
14	いまなぜ外国語かー英語を通して日本語を眺めるー	杉山 泰
15	『秘密の部屋』の秘密ーその構造と意味するものー	志賀 亮一
16	デカルトの懐疑における欺く神と永遠真理創造説	碓井 敏正
17	Our Townにおける演劇空間の特性	鎌田 明子
18	大学スポーツ考	松下 桂子
19	Death of a SalesmanにおけるRequiemの場面の持つ意味について	平田 康
20	コメニウスにおける生涯教育の構想Ⅱー誕生前教育と新生児教育ー	佐藤 令子
21	敦煌石窟と敦煌学	長廣 敏雄

橘女子大学 研究紀要 第9号(1982年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨオゼフ追憶ーその八ー	南 順三
2	学校内暴力について (特に教師に対する暴力について)	原 勤四郎
3	「虞美人草」の一考察ー藤尾と小野の恋愛を中心にー	萬田 務
4	二月革命の勃発とフランスの外交方針ーラマルチエヌの「マニフェスト」を中心にー	杉村 和子
5	啄木の評論「文学と政治」の周辺	上田 博
6	ウイルソン年譜(稿)	守川 正道
7	日本語の拗音についてー音韻論的ー考察ー	橋本 友子
8	The Merchant of Venice の劇構造についての一考察	平田 康
9	「シュブランガーと日本」(2) E・シュブランガー生誕百年にあたって	佐藤 令子
10	マックス・ヴェーバーの 理論と歴史とのあいだを有和する企て	西山 勤二

橘女子大学 研究紀要 第8号(1981年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	文学の世界	多田 英次
2	ヨオゼフ追憶ーその七ー	南 順三
3	助動詞「まし」の成立その他ーけむ・まし・けり・たり・らむ・めりー	吉池 浩
4	資料紹介▼ハーバード・エンチン図書館蔵『たうけわだ』について	安田 富貴子
5	マルブランシュにおける心身問題の諸相	碓井 敏正
6	『名前がなくなれば人は存在しない』ーアーサー・ミラー劇のー考察ー	平田 康
7	美術様式とは何か	長廣 敏雄

橘女子大学 研究紀要 第7号(1979年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨオゼフ追憶 その六	南 順三
2	史料紹介: フロラ・トリスタンの“ユートピア”ー『労働同盟(ユニオン・ウープリエール)』・『協同施設(パレ)』の構想についてー	杉村 和子
3	カール・ランプレヒト对新ランケ学派。あるいは理論対歴史	西山 勤二
4	コメニウスにおける生涯教育の構想(Ⅰ)	佐藤 令子
5	スピノザの自然権思想と私的倫理	碓井 敏正
6	『バーリヤの浜辺で』について	平田 康
7	Wirthの制限的名詞縮約規則について (Restricted Nominal Reduction)	橋本 友子

橘女子大学 研究紀要 第6号(1978年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	シェクスピア劇の女性像	多田 英次
2	ウィルソンの恋愛観と黒人観	守川 正道
3	天福本『伊勢物語』の書写者	吉池 浩
4	宮沢賢治童話集『注文の多い料理店』試論	萬田 務
5	発達権と基本的人権体系論	金田 勲
6	フンボルトの哲学と歴史とのあいだを宥和する企て	西山 勤二
7	死の床におけるブルーノとマロウン-2-	鎌田 明子
8	写真主義の終焉をめぐる -アラン ロブ=グリエ『迷路の中で』を中心として-	志賀 亮一

橘女子大学 研究紀要 第5号(1977年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	近世後期上方語の待遇表現 -人称代名詞について その一-	寺島 浩子
2	ウィルソンの初期政治思想 -「議会政治」への過程-	守川 正道
3	ヨオゼフ追憶 その五	南 順三
4	条例制定の制御構造と住民参加 -条例制定権の構造分析 二-	金田 勲
5	ヘーゲルの哲学と歴史とのあいだを宥和する企て	西山 勤二
6	関係詞Thatの品詞について	橋本 友子

創立十周年橘女子大学研究紀要 第4号(1976年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	おくのほそ道の諸問題	岡田 利兵衛
2	近世後期上方語の待遇表現 -動詞にかかわる上方特有の表現法-	寺島 浩子
3	山本恭順考 -或る名所記作家としての生涯-	安田 富貴子
4	方丈記の構造 -その二重構造について-	吉池 浩
5	色の形容詞と短歌	藪田 尚一
6	室町期の荘園領主と農民 -山科家領を中心として-	田端 泰子
7	徳政令と徳政免除 -所有の論理をめぐる-	脇田 晴子
8	川路聖謨のこと -奈良奉行時代の一面-	前田 一良
9	内村鑑三の性格について	室田 泰一
10	詩經小雅甫田篇解補説	宇都宮 清吉
11	美術史家としての張彦遠	長廣 敏雄
12	ヨオゼフ追憶 その四	南 順三
13	ウィルソンの初期政治思想	守川 正道
14	条例制定の構造と背景 -総括的試論 -条例制定権の構造分析(その1)-	金田 勲
15	スポーツの現状-その一考察-	松下 桂子
16	最近の女子学生の動向についての一調査	原 勁四郎
17	Lateralityの要因分析について -林氏の数量化理論第3類による-	谷口 豊子
18	カント対ヘルダー -あるいは哲学対歴史	西山 勤二
19	Pippa Passesの構成について	藤井 義久
20	Presuppositionと意味 (presupposition in English Semantics)	橋本 友子
21	ビクトリア朝の妥協について	多田 英次

23	コメニウスの「地上の迷路」－絶望からの回帰－	佐藤 令子
24	ソポクレースの『アクリシオス』＝『ダナエ』	木曾 明子

橘女子大学 研究紀要 第3輯(1970年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨーゼフ追憶(其の三)	南 順三
2	戦国大名と国人領主制	田端 泰子
3	Morale provisoire か Morale définitive か	湯川 佳一郎
4	寛容令と市民的自由の問題	長沼 忠兵衛
5	Spranger und Japan	佐藤 令子
6	ACTUAL PERCEIVING	松本 晋
7	J. M. Murry の Keats and Shakespeare について	甲元 健雄
8	読書雑記(二)	岩本 裕

橘女子大学 研究紀要 第2輯(1969年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨーゼフ追憶(その二)	南 順三
2	方丈記攷 - 広本方丈記と略本方丈記をめぐって -	長崎 健
3	黄山谷の「演雅」の詩	荒井 健
4	ホールの知識論をめぐって - 形式主義分析哲学研究ノート -	松本 晋
5	後期シュアート期における長老派の動向について	長沼 忠兵衛
6	ソポクレースのペルセウス三部作	木曾 明子
7	Die psychologische Erziehungsberatung im Dienst der Kunsterziehung in der Pubertät(13.-15.Jahr)	佐藤 令子
8	読書雑記(一)	岩本 裕

橘女子大学 研究紀要 第1輯(1968年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨーゼフ追憶(その一)	南 順三
2	後期シュアート期における「信仰自由」政策をめぐる問題	長沼 忠兵衛
3	庄園制的支配の成立 - 人と土地との支配をめぐって -	脇田 晴子
4	Wallace Stevensの世界 - Imagination and Reality -	加茂 映子
5	頼原ノート古浄瑠璃資料抄	安田 富貴子
6	梵文和訳 大無量寿経(極楽の讃仰)	岩本 裕